

議会だより

平成30年5月

もろつか

平成30年 第157号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会

もくじ

平成30年度一般会計予算	2
総括意見・個別意見	3
一般質問	4~5
歳入歳出予算に対する質疑応答	6~8
所管事務調査報告	9
議会活動報告	10

総括意見

我々村民は、国民生活を支えるため、食糧供給、水源涵養、国土保全など国民生活に極めて重要な役割を果たすとともに、大都市へ優秀な人材を送り続けるなど、国の発展に大きく貢献している。

しかしながら、我が国は急速な少子・高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、本村においても、基幹産業である農林業の低迷や若年人口の減少により地域経済は衰退し、厳しい状況にある中、人口減少の克服と地方創生に向けて「長期ビジョン」「総合計画」を受けて、本村でも財政健全化への着実な取り組みとして、「経済・財政再生計画」のもとに平成30年度一般会計当初予算額は30億円となり、対前年度比8,300万円減額となった。

国内景気が回復傾向にある中、一般財源である地方交付税の減額が村民生活に影響しない政策として、若者定住や子育て支援の充実、FSC森林認証や世界農業遺産認定の制度等を有効活用し「村民のくらしの視点に立った目配り予算」となった。

具体的には、平成30年度新規採用役場職員6名の人件費計上、泡消火資機材消防車の導入、交通防犯対策では監視カメラの設置や村内観光施設に公衆無線LANの整備、荒川保育所の改築、村道、林道の整備、森林、椎茸振興事業にも広範囲にわたり予算の配分がなされた。

また、諸塚村国民健康保険診療所事業では、昨年から定着医師として桐村泰廣先生の就任に伴い、安定した経営がなされている。さらに次年度からは、新たに内科医師を定着医師として迎えることで、村民の健康を守り住みよい村づくりの大きな柱となり、医療福祉の更なる充実が見込まれる。

財源の半分を地方交付税に頼る本村の現状は極めて厳しい予算編成となったが、より一層の行財政の合理化に努め、適正で効果的な村民目線での予算執行に期待し、総括意見とする。

個別意見






- ・人口減少対策への積極的な取り組み
- ・中央公民館建設の促進
- ・学校教育・社会教育の充実



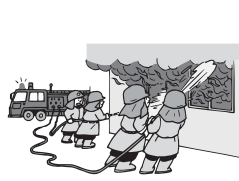


30億円(当初予算)

平成30年度一般会計予算

平成30年 第1回定例会



(前年度 30億8,300万円 比較 8,300万円減)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産費
 4,600万円	 4億6,300万円	 4億4,700万円	 2億8,200万円	 7億2,200万円

商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費
 3,500万円	 3億5,000万円	 6,000万円	 2億7,500万円	 800万円

単位：千円

特別会計	
会計名	予算額
国民健康保険	361,032
後期高齢者医療	29,197
介護保険事業特別会計	270,470
簡易水道事業	27,660
公共下水道事業	18,709
診療所事業	339,000
発電事業	2,930
特別会計合計	1,048,998

予備費	公債費
 1,000万円	 3億200万円



建設中の公営住宅砂田の元団地(第2団地)



改装なった世代間交流施設 諸塚村福祉館

一般質問

今回三名の議員が質問をしました。

① 大面積伐採の際の仮設道について



山本 利夫 議員

山本議員 大面積伐採の際の仮設道を掘り込んで作業をしているところが多く見受けられる。台風や豪雨時に崩壊の恐れがあり、森林を守り、災害を防ぐ観点から、村としても指導をする必要があるのではないか。

西川村長 近年の伐採、搬出の作業現場で仮設道の開設が目につきます。崩壊、災害を心配する声が座談会等で聞かれる。現在、関係機関で定期

② 森林環境税の用途について

山本議員 森林整備を目的とした森林環境税が2024年度から創設予定であり、それを見込んで森林環境税と税として2019年度から地方公共団体に配分予定である。配分されたところは地方交付税が減額されると聞いているが現状はどのようなになっているのか。

西川村長 森林環境税は、特定



西川村長

の目的の税収を一定の基準により地方公共団体に譲与するもので森林整備や、人材育成、担い手の確保等に充てなければならぬ。この森林環境税と税によって地方交付税が減額となるような直接的な関連性はない。

③ 耳川広域森林組合の元職員による不祥事について

山本議員 元職員による、組合員出資金の不正払い出し着服という事件が発生している。

西川村長 組合員に迷惑をかけ、不信感を持たれていると思われるが、原因究明、再発防止についてどのようにお考えか。

西川村長 耳川広域森林組合は、圏域林業の中核的な組織であり、出資者として重く受けとめている。被害の実態、原因の解明、再発防止策や損失処理に取り組むとともに、パナンスの強化などにより組合員等の信頼回復に努めていただきたい。

現在、警察の捜査と、2月末に設置された第三



者委員会での調査と再建計画が検討されているので、その結果を見守りたい。

① 女性管理職登用について



田原 尚美 議員

田原議員 第2次安倍政権による日本再考戦略では、その中核に女性の活用を掲げ、女性の割合を30%まで引き上げるという目標を掲げている。

諸塚村においても、課長以上の管理職はすべて男性が占めている。女性が男性よりも能力を発揮しにくい環境に置かれているのではとの思いもするが、村長のお考えを伺いたい。

西川村長

本村の管理職への登用手順は、通常は課長補佐級の職員から勤務評定など総合的に勘案して登用している。職員の配置について適材適所に女性

職員を配置し村民サービスの向上に努めている。管理職側は、職員の具体的な行動事実を評価基準に照らして評価を行い、管理職登用も人事評価をもとに男女を問わず、管理職としてふさわしい経験や資質、意欲などを総合的に勘案して行う。

田原議員

今、役場の中を見たり時に、女性の方もかなり優秀な素晴らしいリーダー性を持つておられる方もいると思うので、まず課長補佐から、いろんな分野に配属させて、人づくり、人材づくりができるような環境を整えていただきたいと思うのだ。

西川村長

男性、女性を問わず全体の奉仕者として、公共の利益のため勤務するという自覚のもと、与えられた職務というものに

① シカによる椎茸の食害対策について



堀 英博 議員

専念して能力を発揮する。その意味ではどこに配属されても環境は同じである。私は捉えている。

堀議員

本村の基幹作物である椎茸にもシカの食害の影響は大きく、芽切ったキノコをシカから食われ、生産量、ひいては所得に響いているのが現状である。また、12月から1月、2月は品評会向きの椎茸が取れる時期で、幅広い影響を受けているのではないか。

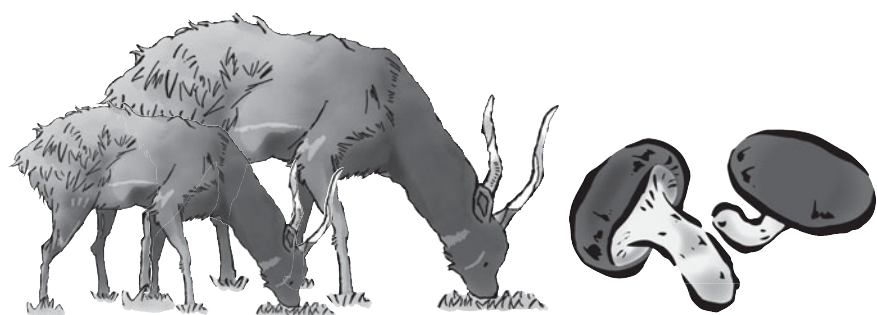
実態調査を行い、早急に対策を打たなければ今後の椎茸生産に影響が出

てくるのではないか。村長の考えを伺いたい。

西川村長

ご指摘の通りシカによる椎茸の被害については例年以上に報告を受けている。村としては、今年1月に椎茸生産者約130名に有害鳥獣の被害調査を行い、3分の1ほどの生産者から回答をいただいた。その中でもシカによる被害報告が一番多い状況であった。この報告に基づいての被害量、被害額が中々概算でしかできず、確定的なもの把握できない状況である。

緊急の場合にはネット等の助成を追加支援したが、ご指摘の通り、生産量、所得への影響を危惧している。また、猟友会からも一斉捕獲の要請があれば回数を増やすことに協力するとのこと理解をいただいております。捕獲の強化についても対応していきたい。



(質疑)

⑤池の窪ログハウス改修計画について

- ① 池の窪ログハウスの改修が計画されているようだが、利用状況からみても、取り壊すという選択肢はないか。
- ② 池の窪ログハウスの水タンクの漏水問題と冬場の凍結の問題については、

答弁

- ① 雇用確保の関係から棟数を減らすということはイコール収益減少、雇用の縮小になるので、今の時点で考える必要はないと思う。
- ② 凍結については、北海道あたりはどうなっているのか。寒冷地仕様のあるものではないかと話している。



(質疑)

⑥もろっこはうす身障者トイレについて

もろっこはうすの身障者トイレに看板があるが、英語及び三か国語位を表記した方が良いのではないか。

答弁

今は大体どこに行ってもそのような表示がされている。それらに目を付けて気を付けてやっていきたい。配慮であろうと思う。



そこが聞きたい

(質疑)

⑦職員評価について

職員の評価については、各課長がしていると思うが、管理職以上の評価を職員にさせる考えはないか。

答弁

人が人を評価するので、一定の原則に従ってやらなくてはならないと思っている。

(質疑)

⑧山村定住住宅建設計画について

山村定住住宅の建設計画があるのか。

答弁

造成にも費用がかからないし入居者も見込めるということで、七ツ山に1戸建設する予定である。



(質疑)

⑨荒川保育所改築計画について

荒川保育所の改築の話があるようだが。

答弁

現保育所は、耐震基準を満たしていないが、今後10年園児数の増も見込める。また、国県の補助も2分の1活用できる。子どもの安全と保護者が安心して預けられる体制を作りたい。



歳入歳出予算に対する 質疑応答 (総括質疑)

(質疑)

①木質バイオマス発電施設設置計画について

木質バイオマス発電施設の設置計画があるようだが、早急の中にも慎重に検討していただきたい。

答弁

バイオマス発電というものが目的ではなく、循環型林業という大枠の中で木工家具の製作とか林研グループ等の自主的な取り組み等合わせて、森林林業の活性化につながるよう一丸となって取り組んでいくつもりである。

(質疑)

②バイオマス発電事業について

事業実施により、村内生産者全体に利益が行き渡るようなことを意識して取り組んでいただきたい。

答弁

発電所そのものがもしできても、大きな雇用は見込めないと思う。所得向上につながるようなものでないと取り組む価値はなく、地域内での材料から経済がつながっていくような循環型にすべきだと私は思っている。



そこが聞きたい

(質疑)

③産業振興、所得向上について

諸塚村における産業の振興、個人所得の向上に向けての取り組みが必要だと思うが。

答弁

村で生きていくためには、所得の確保が最優先される。そのためにどうしていくか、商工業も含めたすべての産業がうまくいくように目配りをしていく。

(質疑)

④かかりつけ医について

国保の医療費が県内一ということで、診療所をかかりつけ医として、村民に周知徹底していくことも必要ではないか。

答弁

4月から診療所も2名の定着医体制となった。先生方が、気持ちよく医療に専念できる環境、体制を整え一次医療として診療所を利用して頂くよう村民の皆様にもお願いしていきたい。



去る1月31日、私達は、最近話題の木質バイオマス発電施設を視察することになり、西都市にあるハマテック株式会社（西都営業所を調査したので、その概要を報告する。）

ハマテックは、バイオマス発電機（Voltera40）の販売代理店、ボルタージュパン株式会社（秋田市）を通じて県内8基、県外5基を計画中である。西米良村には60haの森林を所有し、従業員の定住化を促進するため、素材生産にも力を入れている。

〔Voltera40〕は本体価格4千万円（8,500ccのエンジンでガス化）、施設込みのパッケージで5千万円から5千5百万円との

こと、発電能力として時間当たり44kW発電し40kWを売電、2〜3kWを運転に利用している。

また、燃料はチップで、1日900kgのチップをターボに投入すれば自動運転になる。チップについては発電効率を維持するため、チップの含水率を15%以下にする必要がある、熱利用によりチップをハウス内で乾燥しているが、温度が20℃以下になると乾燥効率が悪くなるため、機械本体から取り出したラジエーター熱を利用してハウスの床に畝方式でパイプを通し、その上にチップを畝場に置き、含水率を下げる方式を独自で開発

所管事務調査報告
総務産業・常任委員会

していた。なお、チップの購入価格は、生トン当たり12,000円で年間500万円とのことである。

売電額は年間330日稼働で1,214万円、5〜6年で元手を回収見込みとのことである。

本村においても木質バイオマス発電施設が計画される予定であるが、とても参考になる視察であった。



そこが聞きたい

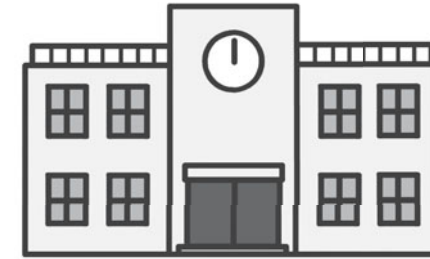
(質疑)

⑩学校あり方検討会について

学校あり方検討委員会については。

答弁

平成26年から3年間の結論としては、できるだけ存続するという形で整理している。今後1年に一度ずつ、各学校との意見交換をしながらしばらく状況を見ていく考えである。



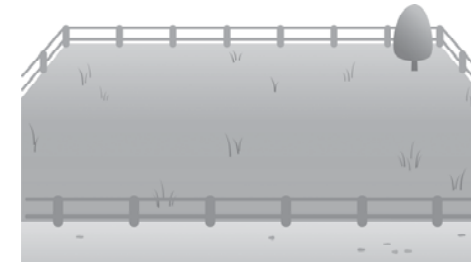
(質疑)

⑪茶園活用について

茶園の荒廃地の農園に新規産業を取り入れる考えはないか。

答弁

30年度釜の前茶工場でウーロン茶の製造に取り組むため機械の導入を計画している。そういうものにより、茶関連の拡大、茶園の荒廃の防止につなげたいと思う。



(質疑)

⑫中学校部活動について

中学校の生徒数減少に伴い、部活等で大会に参加できない状況もあるようだが、部活のある程度の整理はできないか。

答弁

今、野球部においては、西郷中学校と合同で出ている。30年夏以降、バレー部も独自で活動できなくなる。中体連の決まりもあるので、今後、検討していかなければならないと思っている。

(質疑)

⑬高齢者の買い物対策について

高齢者の自動車運転免許証返納後の買い物等不便な環境になっていることに対してのお考えは。

答弁

包括支援センターと一緒に、高齢者の方の生活状況を把握しながら、診療所、デイサービス等との連携をとり、いろんな方の支援をいただきながら協議していくということである。



(質疑)

⑭社会教育について

社会教育主事を採用することに伴い、全体に緩みが出てきている社会教育をみんなで立て直さなければならないと思うが。

答弁

ご指摘の学校教育上かつてない問題や村全体の社会において人間関係の希薄化があり、社会教育に今一度力を注ぐ必要があるのではと思う。



議会活動報告

月	日	行 事 名	場 所
1	3	第72回諸塚村成人式	中央公民館
	6	諸塚村消防出初式	村民グラウンド
	7	第8回市町村対抗駅伝大会(～8日)	宮 崎 市
	11	日向市・東臼杵郡町村議会議員研修会	日 向 市
	21	日向地区村人会	日 向 市
	28	女性の集い	中央公民館
	31	町村議会時局講演会・所管事務調査	新富町/西都市
2	2	九州中央道期成会現地視察	延 岡 市
	20	県町村議会議長会定期総会	宮 崎 市
	28	議会運営委員会・議会全員協議会	委 員 会 室
3	2	東臼杵郡議会議長会定期総会	日 向 市
	7	平成30年第1回定例議会(～16日)	議 場
	8	本会議	議 場
	8	予算審査特別委員会	委 員 会 室
	9	予算審査特別委員会	委 員 会 室
	12	予算審査特別委員会	委 員 会 室
	14	予算審査特別委員会(まとめ)	委 員 会 室
	16	本会議(最終日)	議 場



予算審査特別委員会



議会広報編集特別委員会

随 想

「今年の冬の思い出」

岩 本 國 和

今年の冬は例年になく寒さだった。1月9日の朝から降り始めた雪は、止むことなく降り続き、夕方には銀世界となり、この冬一番の寒さとなった。

そんな中、私の叔母は88歳の生涯を閉じました。お通夜にいられた住職が、帰りに橋の欄干の積雪を測ると27センチあったとのこと。翌日式場へ叔母を運ぶときには、昨日よりも勢いを増し、まるで、叔母が家を出たかと言っているのか、雨が降るように雪は降り続きました。除雪してもすぐに白くなり、霊柩車も登ってこれない状況でしたが、実行組合長が役場にシヨベルカーを依頼し、無事に連れて行くことができました。

これも、連絡してくれた組合長さんと役場の迅速な対応のおかげでした。諸塚の温かい気遣いに感謝いたします。

編 集 後 記

表紙の写真は“森の民宿” 樹の里さんの庭に見事に咲いた藤の花で諸塚村観光協会にご提供いただきました。

さて、4月11日未明、大分県において大規模な山林崩落が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申しあげるとともに、ご遺族の皆様にご心からお悔やみ申しあげます。新緑が目眩しい穏やかな季節の中においても突然発生する自然災害に対して私たちはなす術もありませんが、平日頃の備えは心掛けておきたいものです。

今年度も議会だよりを通して、議会の活動を分かりやすく伝えていきたいと思っております。引き続きご愛読をよろしくお願いいたします。
(編集委員) 田原尚美 堀 英博 岩本國和 山本利夫